



研究主題

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり

児童が自分の目標をもち、学習の進め方を選ぶことで、自己調整力や学びに対する自信が育ちます。また、「分かる」、「できた」が実感できる機会が増え、学びことが楽しくなります。そのために私たち教員は“教える人”から“学びを支える人”になれるよう授業改善を行っています。



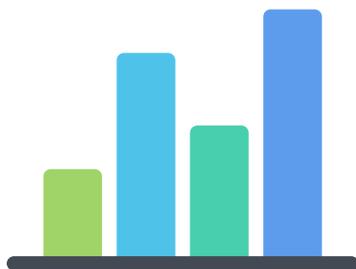
個別最適な学びとは？



指導の個別化

一定の目標に向かって
異なる方法等で学習を進めること

例えば・・・国語の漢字の成り立ちを調べる活動で、教科書・ノートで学習を進める、タブレットで調べる、個人で学習する、友達と協力して調べるなど学習方法を選びます。



学習の個性化

異なる目標に向けて
学習を深め、広げること

例えば・・・

社会の林業の学習の中で、さらに調べたいことを決めます。林業に関わる「人々の工夫」や「生産量」、その仕事をする人々のグラフや表など。自分の興味関心でテーマで学習を深めたり、広げたりしていきます。

